



令和7年9月1日号
ウェルグループ保育園
(あゆみ・のぞみ・はるみ)

水遊びにお祭りなど色んな体験を楽しんだ夏が終わり、
だんだんと秋の気配が近づいてきました。9月は防災強化
月間です。災害や防災について確認し合い、子ども達の命
と安全を守れるように、防災への知識や意識をしっかりと
持ち、防災訓練や避難訓練を実施しながら、子ども達にも
自分の命を守る大切さを知らせていきたいと思ひます。

- 体調の変化に気を付けながら健康に過ごせるようにする。
- 汗をかいたら着替えたり水分をとったりしながら健康に過ごす。
- 思い切り体を動かしながら様々な運動遊びを楽しむ。

9月 は 防 災 強 化 月 間 で す



9月が「防災月間」とされているのは、1923年（昭和35年）9月1日に発生した関東大震災の教訓を忘れず、地震や台風などの自然災害に備える意識を高めるためです。また、9月は台風や大雨などの災害が多く発生する時期でもあるため、この機会に防災への意識を高め、備えを見直すことを目的としています。

●事前防災でいのちを守ろう

事前防災とは……災害が発生する前から被害を最小限に抑えるために事前の備えること

- ハザードマップの確認
- 家具の固定
- 建物の耐震性を確認、改修工事
- 避難訓練



●ローリングストックで一定量の備蓄を！

- ① 普段の食品を少し多めに買う
非常食に限らず、日常的に消費する食品（レトルト食品、缶詰、乾麺など）を少し多めに買い置き。
- ② 古いものから順に消費する
買い置きした備蓄の中から、賞味期限が近いものや古いものから順に、毎日の食事や生活の中で使う。
- ③ 消費した分を買い足す



●連絡手段を確認できていますか？

家族がそれぞれ別々の場所にいるときには、災害が発生したときには、お互いの安否を確認できるように、日頃から安否確認の方法や集合場所などを家族で話し合っておきましょう。

災害用伝言ダイヤル（171）サービスでは、大規模災害時に電話がつながりにくい状況で、音声で伝言を録音・再生できるサービスです。固定電話や携帯電話から「171」をダイヤルし、音声ガイダンスに沿って操作します。



引き渡し訓練を実施します！

引き渡し訓練は、幼稚園や保育園、学校などで行われる避難訓練の一種です。確実に子どもの安全を確保し保護者に引き渡せるよう詳細を検討したり、保護者に対して避難時の注意点やなすべきことを伝える機会でもあります。あゆみ保育園でもハロウィンの行事の後、予定しています。詳細は10月にお知らせいたします。

いざというときの賞味期限切れ防止や災害時も日常生活に近い食生活ができます



0～3歳に多い 窒息 対策していますか？

窒息で亡くなった人を年齢別にみると、0～3歳の子どものが85%を占めています。特に食事中、睡眠中、遊んでいるときの窒息が多いです。注意する点を知っておきましょう。

食事中

- 小さく切って食べさせているか
噛む力、飲み込む力に合わせた大きさに調整
- よく噛むよう声をかけている
噛むことで飲み込みやすくなる
- 正しい姿勢で食べさせているか
寝転ぶなどの姿勢は、のどに詰まらせる危険が大
- 年上の兄弟に小さな子どもの世話をさせていないか
兄弟があげたもので窒息することがある

睡眠中

- 寝具がやわらかすぎないか
顔がマットに沈み、呼吸ができなくなる。
- ベッドの周辺に隙間はないか
顔がはさまる危険がある
- スペースは十分あるか
ふとんやクッション、人形などが顔にかぶさって窒息することもある。掛け布団は軽い物を使い、寝具以外のものは周りに置かないようにしましょう。

遊ぶとき

- このくらいの大きさなら、大丈夫と思っていないか
子どもは直径6～20mmのものでも窒息する危険がある。ビーズ・玉・おはじき・ビーズ・ブロックなどの小さなものは、子どもの手の届かないところに保管しましょう。



政府広報オンライン
←赤ちゃんやこどもを誤飲・窒息事故から守る！万一のときの対処法は？

園での保育中は上記の事を点検し、細心の注意・配慮をしています